

2016年4月15日

報道関係各位

GMO グローバルサイン株式会社

## 「グローバルサイン IoTプログラム」を開始 ～電子証明書・認証ソリューションの無償提供でセキュアな IoT を支援～

GMO インターネットグループの GMO クラウド株式会社の連結会社で、電子認証サービスを展開する GMO グローバルサイン株式会社（代表取締役社長：中條 一郎 以下、GMO グローバルサイン社）は、セキュアな IoT 環境の実現を支援する「グローバルサイン IoTプログラム」(以下、IoT プログラム)を、本日 2016 年 4 月 15 日より開始いたします。

GMO グローバルサイン社は、「IoT プログラム」にご参加いただいた IoT ベンダーに、通常有料で提供している電子証明書、認証ソリューションを無料で提供し、その実装における技術支援を行います。

### 【IoTプログラム】開始の背景

昨今、IT 関連機器に限らず様々なモノがインターネットに繋がり、情報がやり取りされる IoT (Internet of Things) の概念の広がりに伴って、多くの IoT ベンダーがサービスの開発・提供を開始しています。こうした IoT 環境の構築においては、IoT 対応デバイス自体の認証や、やり取りされるデータの暗号化によるセキュアな通信環境が必要となりますが、サービス開始前のテスト段階で様々な方法を試すのは、リソース面でもコスト面でも IoT ベンダーの負担になっているのが現状です。

そこで GMO グローバルサイン社は、セキュアな IoT 環境の実現を支援するべく、IoT に必要となるアプリケーションやソリューションサービス等のコンセプトモデルを開発する IoT ベンダー向けに、セキュリティ・ソリューションの無償提供および、その実装における技術支援を行う「IoT プログラム」を開始することといたしました。

### 【IoTプログラム】について

「IoT プログラム」への参加は、下記の専用ページからお申し込みください。

▼IoT プログラム専用ページ URL : <https://jp.globalsign.com/internet-of-things/>

### ■IoTベンダーにセキュリティ・ソリューションを提供

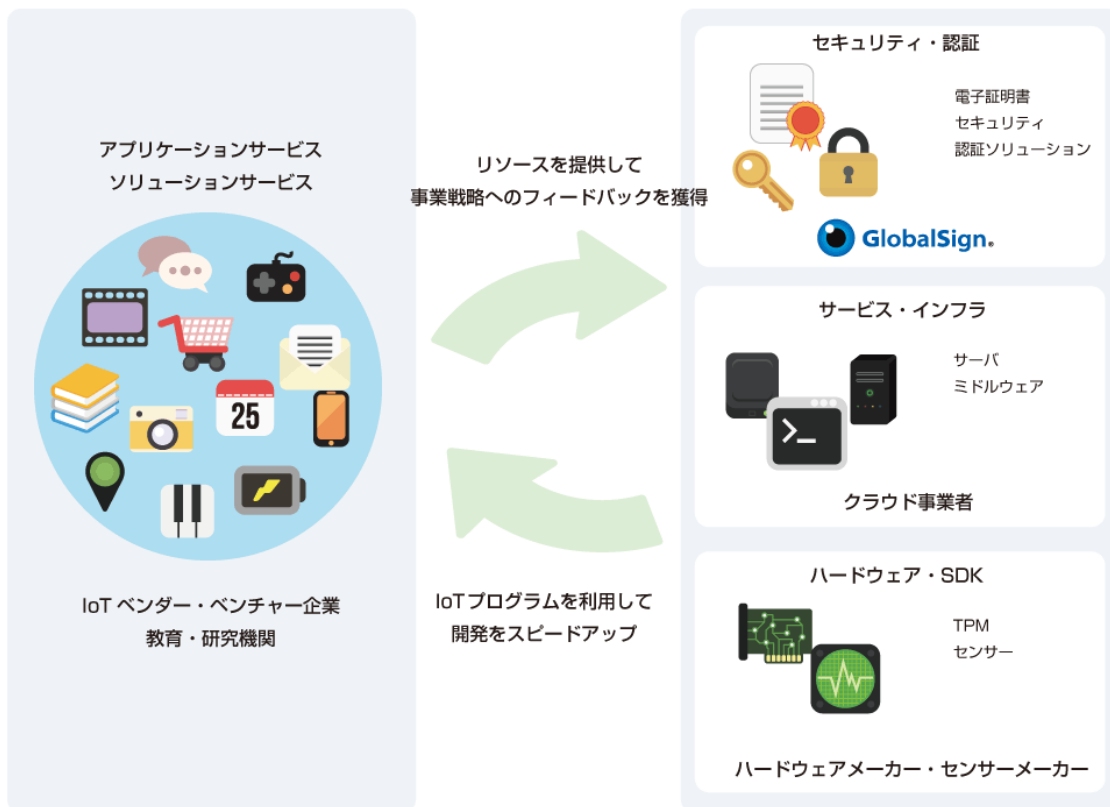
「IoT プログラム」では、IoT ベンダーが抱える問題点や課題等、現在の状況を GMO グローバルサイン社の技術者がヒアリングし、同社が通常有料で提供している全ての電子証明書・認証ソリューションの中から、必要となるサービスを無償で提供いたします。これにより IoT ベンダーは、IoT デバイス間の認証に関する開発コストを削減することが可能です。また、これらを実装する段階では GMO グローバルサイン社が技術支援を行うため、スムーズにテスト（概念実証）を開始できます。

### <GMO グローバルサイン社の提供ソリューション一例>

- ・電子証明書・・・ サービス運営者の実在性と通信の暗号化が可能な「SSL サーバ証明書」  
アクセス認証に利用可能な「クライアント証明書」  
ソフトウェアの改ざんや配布元を偽ったソフトウェアの流通を防止する「コードサイン証明書」  
電子文書の改ざんの有無を明示する「文書署名用証明書」など
- ・認証ソリューション・・・ IoT デバイスをはじめ、ヒト・モノの ID 管理を行うことができるサービスです。

## ■サービス・インフラ事業者、ハードウェアメーカーを募集

「IoT プログラム」に賛同し、IoT ベンダーへサービスや製品を提供いただけるサービス・インフラ事業者やハードウェアメーカーも広く募集いたします。IoT 環境の構築を支援するとともに、自社サービスのフィードバックを獲得することができます。



▲ 「IoT プログラム」の参画イメージ

### 【「GlobalSign」とは】

世に電子認証サービスが登場し始めた初期段階の1996年にベルギーでサービスの提供を開始し、ヨーロッパで初めてWebTrustを取得した認証局です。ベルギー政府関連機関への数多くの実績を持ち、eID(BELPIC) (※)をはじめとするベルギー電子政府プロジェクトの最上位認証局である、ベルギー政府認証局への認証を行っています。2006年にGMOインターネットグループにジョインし、政府レベルのセキュリティを、日本をはじめワールドワイドに販売展開しております。現在では、SSLサーバ証明書をはじめとした150万枚の電子証明書発行実績と、政府関連機関や大手企業へ多数の納入実績があります。

また、『CABF(CA/Browser Forum)』、『Anti-Phishing Working Group』に参加し、電子証明書市場のリーディングカンパニーとして積極的な活動を行っています。2014年にはヨーロッパを中心にIdentity and Access Management(IAM)ソフトウェアを提供してきたフィンランドのUbisecure社をグループ化し、IAM事業をサービス群に加えました。Ubisecure社のIAMソフトウェアは大手Sierを含む150社のパートナーを通じて多くの政府機関、金融機関、大企業で利用されています。

※eID：ベルギーの電子政府プロジェクトの一環として始まった国民IDカードプロジェクト。12歳以上のベルギー全国民に対して電子証明書入りのIDカードが配布される。

以上

#### 【報道関係お問い合わせ先】

●GMOクラウド株式会社 社長室 広報担当 遠藤・松下  
TEL：03-6415-6100 FAX：03-6415-6101  
E-mail：pr@gmocloud.com

●GMOインターネット株式会社 グループ広報・IR部 石井・島田  
TEL：03-5456-2695 E-mail：pr@gmo.jp

#### 【サービスに関するお問い合わせ先】

●GMOグローバルサイン株式会社 事業企画部 大澤  
TEL：03-5728-1551 FAX：03-5728-1552  
E-mail：support-jp@globalsign.com

**【GMO グローバルサイン株式会社】 (URL : <https://jp.globalsign.com/>)**

会 社 名	GMO グローバルサイン株式会社
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役社長 中條 一郎
事 業 内 容	■情報セキュリティ及び電子認証業務事業
資 本 金	3 億 5,664 万円

**【GMO クラウド株式会社】 (URL : <http://www.gmocloud.com/>)**

会 社 名	GMO クラウド株式会社 (東証第一部 証券コード : 3788)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役社長 青山 満
事 業 内 容	■ホスティングサービス事業                      ■セキュリティサービス事業 ■ソリューション事業                                  ■IAM 事業
資 本 金	9 億 1,690 万円

**【GMO インターネット株式会社】 (URL : <http://www.gmo.jp/>)**

会 社 名	GMO インターネット株式会社 (東証第一部 証券コード : 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役会長兼社長・グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	■インターネットインフラ事業                      ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット証券事業                              ■モバイルエンターテイメント事業
資 本 金	50 億円

Copyright (C) 2016 GMO GlobalSign K.K. All Rights Reserved.